

山号「靈龜」を戴いて麗姫会へ

麗姫会は、長年培ってきた本徳寺仏教婦人会の伝統的活動を引き継いで、地域社会により一層その精神を発揮できるように企画されたものです。そのため、会則を新たに作成し、会の趣意・目的・活動を明確にして、宗派の内外を問わず、多くの方々の理解と参加をいただき、開かれた自立性のある婦人会に脱皮するものです。

麗姫会の名称は「法薫麗しい姫路人の集い」を表し、ヨミを本徳寺の山号・靈龜山から「レイキ」の音を借りてあらわしたものです。会則には主旨・目的を次のように明らかにしています。

第一条(主旨) 本会は真宗の教えから日常を反省し、よりよい人間の生きかたや人間関係を学ぶことを本旨とし、地域・宗派の内外に共に共感できる法友の輪を広げるものである。

(目的) その活動は主に龜山御坊の行事参加、研修・奉仕活動、相互交流等を通して仏教的情操を養い、英賀御堂建立以来の真宗のもつ地域の歴史や文化を時代に伝えることを目的とする。

会則で表現するどころしても堅くなってしまうが、要は、日頃の生活のなかで見失いがちな、本来の自己の生き方、あり方を具体的な活動や「ご奉仕」を通して学び、交流を起すことにより、家庭や地域の課題を見抜く目を養い、多くの諸課題を自らの問題としてとらえ、改善のための一歩を踏み出す勇気をいただくこととする

ものです。このようにな小々な一歩一歩の積み重ねが、法義相統の歴史を綴っていくことになるのではないのでしょうか。



山亀の亀の瑞奇の出現した寺内陳靈龜の山号の地名の原点です。

本徳寺仏教婦人会は、四月一日の役員総会にて会名も龜山御坊麗姫会と改め、

会則も新しく作成して発足しました。その新しい会の会長に選ばれましたが、私は何分未熟者で頼りない会長だと思えます。皆様のご支援のもとに、副会長や他の役員様の手助けを受け共になんばって行きたいと思えますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、私と御坊さん(本徳寺)について記してみます。これは祖父から言い伝えられてきたことですが、私

宅、加集家は豊臣秀吉が阿賀(英賀)御坊を滅ぼして龜山に土地を寄進したため、この龜山の地に御坊が移築したときに、御坊に従ってきた十人衆の一人だと聞かされてきました。その故か、私も小さい頃からいつも祖母に連れられて御坊にお参りし、おときをいただいていた。このように私は御坊さんと切っても切れない縁があるのだと感じながら、からだの元気な間は、この麗姫会のために勤めていきたいと思っております。

(手柄校区 加集道子)

今度、副会長をお受けすることになりました。高浜校区の藤野でございませう。無能な私かと、不安もあります。麗姫会の会則にのっとり、その目的に向かっただけでございませう。微力ではございませうが、会長を補佐し皆様の期待にお応えしていきたいと存じております。

どうか、より一層のご協力とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(高浜校区 藤野美智子)



麗姫会の活動を支える役員

若葉が薫る五月、本年度より荒川校区代をさせて頂く吉田です。加茂妙善寺門徒の一人として仏教婦人会に参加交流の機会を得まして、貴重な体験をさせて頂いたこと、その楽しみ、そして不安も多くなが、行事を通じて先輩の方々との出会いの中で、新しい知識を重ねてがんばって行きたいと思っております。ご指導よろしくおねがいします。(荒川校区 吉田英子)

初夏の近づく空の明るさ、新緑の美しさに心癒される日々でございます。

四月、新体制仏教婦人会の総会で年間行事奉仕活動など決議されました。

由緒ある本徳寺の仏教婦人会のお手伝いが私にも出来るだろうかと不安な気持ちで一杯ですが、伝統ある仏教婦人会のよき活動をきちんと受け継ぎ、経験豊富な先輩方の心を大切に守りながら若い人たちに参加しやすい仏教婦人会活動になればと願っております。(飾磨校区 森本淳子)



降誕会での麗姫会会長の挨拶



降誕会演芸会での麗姫会名誉会長の挨拶